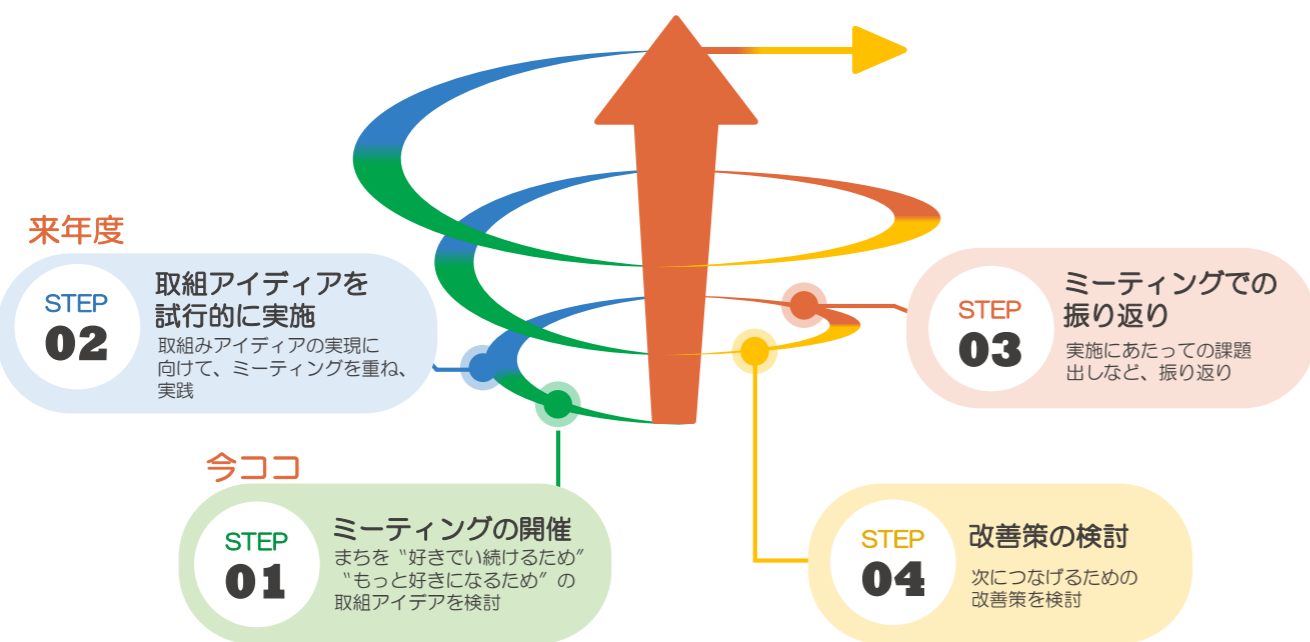


成長しつづけるまちづくりを目指して

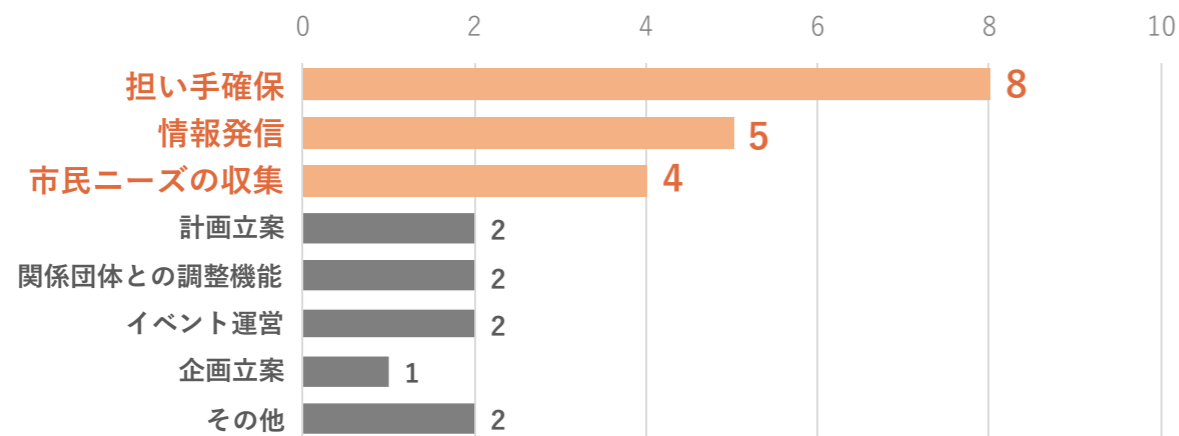
今年度提案された“豊中駅前デッキを活用した賑わい形成の取組”を次年度に試行します。その後も実施結果の振り返りや改善策の検討を定期的に行いながら、持続可能なまちづくりの実現に向け、段階的・継続的に近づけていきます。



試行を重ねながら、まちづくりを実施していきます

豊中駅前まちづくりミーティングに期待される役割

今後の豊中駅前まちづくりミーティングは、単に話し合いの場にとどまらず、まちづくりの担い手の確保や、情報発信、市民ニーズの収集など、人と人を結びながら活動の輪を広げていくプラットフォーム的な役割が期待されています。



第3回意見集計結果「今後のまちづくりミーティングの期待される役割とは？」

発行・問い合わせ

豊中市役所 都市計画推進部 都市整備課 北部整備係
〒561-8501 大阪府豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL：06-6858-2674 FAX：06-6854-9534

開催概要

開催目的

本ミーティングはお集まりいただき皆様と市が意見交換をしながら、豊中駅周辺を「より魅力的なまち」にしていくことを目指し、令和4年(2022年)度で開催されました。地域課題の解決や取組のアイデアを創造していくことでよりよいまちづくりを目指します。

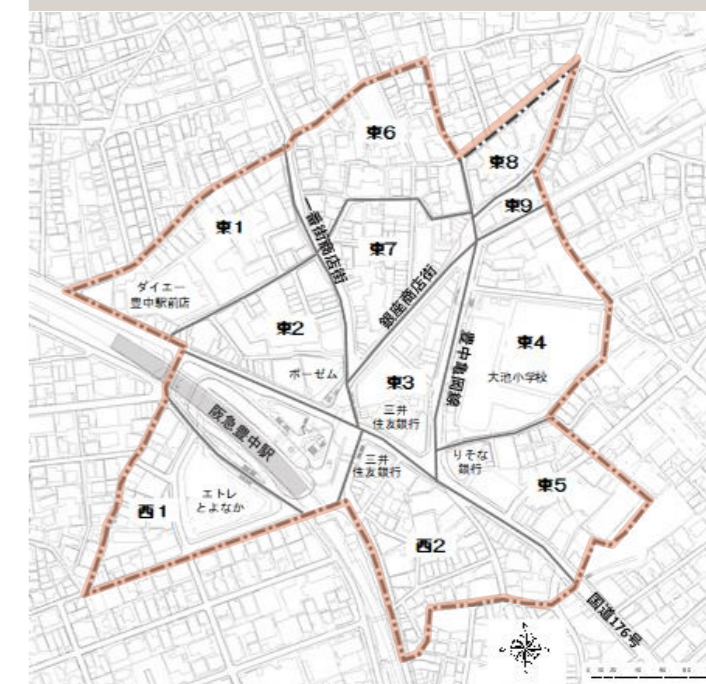
ミーティングの位置付け

本ミーティングで提案・賛同いただいた取組を、令和5年(2023年)度に社会実験のような枠組みで試行していきます。

参加者

公募市民26名の方がメンバーとなり、活発な意見交換を重ねました。

対象エリア



プログラム

ワークショップ形式を基本とした全3回のプログラムを開催しました。まちの課題や将来像、新たな取組の考案など、模造紙を広げてアイデアを出し合い、まちづくりのための建設的な意見交換を行いました。

第1回

2022.11.13.Sun

“こうなったらいいな”を想像する



- ・オリエンテーション
- ・まちの好きなおとこを将来イメージの共有

第2回

2022.12.18.Sun

取組のアイデアを発想する



- ・まちを好きでい続けるための取組
- ・まちをもっと好きになるための取組のアイデアを検討

第3回

2023.2.19.Sun

次年度に試行する取組を方向付ける



- ・好事例の共有
- ・次年度に試行する基幹的な取組の決定



【第1回 ミーティング】

豊中駅前の“こうなったらいいな”

好きなところ	将来像	将来に向けたアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ◆人とのつながりや地元愛が強い <ul style="list-style-type: none"> ・素敵な人が多い ・横のつながりがある ◆ブランド力がある <ul style="list-style-type: none"> ・きれいでまじめなまち ・静かで品のあるまち ・楽しめるイベントが多い ◆子育て環境が良い <ul style="list-style-type: none"> ・医療と商業が多い ・稲荷山公園が良い ◆交通の便利が良い <ul style="list-style-type: none"> ・梅田に近い <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆人と自転車の交通の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全性の向上 ・ゆっくり歩けるまち ・迂回できる道 ◆商店の賑わい <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗の活用 ◆緑化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・人がくつろげる散歩道 ◆交流スペースの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・文化的施設 ・子どもの遊び場 ・駅前デッキの活用 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆交通マナーの課題 <ul style="list-style-type: none"> ・駐停車の抑制 ・商店街の自転車通行抑制 ◆住居と商業の混在が課題 <ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な視点が必要 ・魅力的な商業施設の誘導 ・新住民との融合 ◆その他 <ul style="list-style-type: none"> ・意見集約の場が重要 ・福祉カフェの誘致 ・定期借地による民間開発 ・斬新なアイデアが必要 <p>など</p>

【第2回 ミーティング】

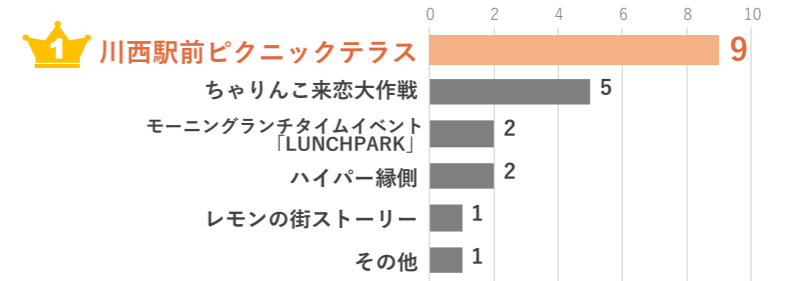
まちを“もっと好きになるための取組”のアイデア

利便性の向上	オープンカフェ、キッチンカー、動線の案内表示、買物支援、アメニティ（休憩場所等）の確保、魅力ある店舗の誘致
景観向上	清潔感のあるまちづくり、タバコ吸い殻ゴミ回収、景観を良くするためのクリーン活動・緑化推進・壁面アート、空き店舗の活用
賑わいづくり	JAZZストリート、買い物イベント、商店街フリーマーケット、回遊型イベント、遊べるイベント、担い手づくりイベント、豊中子供縁日、商店街で週一朝市・土曜夜市の開催、中ハル
交通安全	交通マナーの啓発、歩行者の安全の強化、自転車押し歩き運動、駐停車の抑制
まちの魅力発信	地域資産のPR強化（神社、寺、高校野球・ラグビー発祥の地）、歴史と文化を大切にしたいイベント、高校・大学とコラボした短歌の会、姉妹都市との連携イベント
その他のご意見	<ul style="list-style-type: none"> ◆イベント開催のポイント：参画型・新旧住民を繋ぐ・持続・多様性・行政支援 ◆公共施設の希望：小さな図書館・自習スペース・公園・ステージ（駅前デッキ） ◆ルール化の希望：駅前デッキの利用基準（緩和）・再建築時の規制と緩和 ◆まちに必要なもの：まちの統一イメージ・滞在性・回遊性・通信環境（Wi-Fi）

【第3回 ミーティング】

試行イメージは“ピクニックテラス”

5つの好事例の中から令和5年度に試行する取組を選定しました。一人一人の発表と挙手による多数決の結果、「川西駅前ピクニックテラス」が第1位に選ばれました。



川西駅前ピクニックテラスの概要

- ☑ まちの賑わいづくりのための社会実験
- ☑ 駅前に「日常的な滞留」を増やすため、地元企業を巻き込んだワークショップや住民参加型のイベントを開催。新たなコミュニティスペースを創造
- ☑ 飲食や物販、交通マナー向上のイベント、ゲーム、音楽、体験等が楽しめる「マルシェ」を企画。まち×ヒト×モノ×コトの新たなネットワークを創生

ピクニックテラスを令和5年度に豊中駅前で試行します

「川西駅前ピクニックテラス」を参考に、豊中駅前のデッキなどを活用を想定し、豊中独自の工夫を加えた賑わいづくり等の取組を令和5年(2023年)度に試行します。

ミーティング参加者の意見より

取組をやってみたい理由

- 豊中駅の場合、きたしん広場がある。但し、デッキだけではなく、商店街の一部に拡大し、人流が商店街に流れる必要がある
- 駅前広場があり、銀座通りで月に1回のモール化など交通実験を実地、駅前の将来を考えた取り組みをする
- 自転車や塾利用者のマナー向上消去法ではないが、豊中駅前人工広場を活用することにより、日常的な滞留を増やすことができるのでは…。
例) ミニコンサート、物販、阪急さんが行っていた電車模型を使ったゲーム等
- 豊中駅前人工広場があるにも関わらず、あまり活用されていないため
- 子供のよこご場所がないため

豊中駅前で工夫すること

- 商店街の一部や道路の片側を制限して、キッチンカー等を出店する
- 駅前広場の使用面ハードルを下げる（道路→広場）銀座通りの一時的なモール化への地域の理解
- 駅前人工広場の1、2F部分の清掃で美観を保つ工夫をする
- 植さいを植える
- 帰宅ラッシュの時間帯にも考慮する。騒音対策、豊中産の物品や飲食販売
- 自転車押し歩き等の交通マナーを守る（駐転車スペースが必要）
- 夏一金魚すくい他 ヨーヨーつり 冬一焼いも他 もちつき 子供の作品展

期待する効果

- 雑貨や日用品など、豊中駅前（商店街）では買えないものを売ることで集客力UP！
- 楽しいイベントを開催することで駅前広場と商店街が歩きやすくなる。滞在時間の延長、地域経済の潤い、定期開催で地域活動の担い手がうまれる。
- 自転車の利用のマナー向上によって、安全安心なまちづくりが出来る。散歩する人が増え健康増進に寄与。
- 憩い
- 駅前の活性化、にぎわいの創造
- 市民活動の認知度UP